

子ども議会だより

令和5年
2月3日

第4回

横浜町子ども議会開催



私たちの望むまち

目次

- 子ども議会開催／納党……………P2
- 無党／ありがとう……………P3
- ポテイ党／佐党……………P4
- 閑党／こんぺい党……………P5
- 鳥山党……………P6



令和4年度子ども議会開催

1. 質問作成のための事前勉強会

日時：令和4年12月9日（金曜日）14：10～14：55

今年度の子ども議員は、横浜小学校6年生の31名です。

横浜小学校で事前勉強会を開催しました。教育委員会指導の下、子ども議会に向けて質問を作成しました。役場の担当課に自ら質問をしにいくなど、質問作り積極的に取り組む姿が見られました。

今年はタブレット端末を活用して行いました



2. 子ども議会リハーサル

日時：令和5年1月30日（月曜日）13：30～15：00

リハーサルでは、議場で質問する練習をしました。議会事務局長から、入退場は一礼することをはじめ、議長の議事進行に従って説明をする手順を学びました。初めての議場に緊張と戸惑いを見せながらも本番に向けて練習を重ねました。

3. 子ども議会 本会議

日時：令和5年2月3日（金曜日）9：20～11：20

当日は、8つのグループに分かれて質問し、今年度はGIGAスクール事業で整備したタブレットを活用して行いました。子ども議員は、質問をよりわかりやすく解説するためにパネルを作成したり、町長や教育長からの答弁に対し、再質問をするなど、本会議さながらの緊張感のある子ども議会となりました。



議長：森川有紗さん、副議長：濱谷来和くん



Q. ふるさと納税の返礼品に、ホタテの貝柱などの乾物、長芋やジャガイモなどの野菜の詰め合わせを追加してはどうか

1 班 なっ とう 党

天間 杏奈 議員

青山 結依 議員

二木 歌彩 議員

問 私たちは、ふるさと納税の魅力さをさらに高めたいと思います。横浜町のふるさと納税の返礼品は、県内の市町村に比べても種類も豊富で、とても魅力的だと思います。

そこで、さらにふるさと納税の魅力さを高めるために、ホタテの貝柱やその他の乾物、長芋やジャガイモなどの野菜の詰め合わせといったものを増やすことを提案します。

答 返礼品の件数については、令和2年度では16品でしたが、現在は20品登録されています。特に、澤谷養蜂園の生はちみつや日本ピュアフードのサイコロステーキが返礼品の人気商品となっています。

今後とも、ふるさと納税の魅力さを高め、横浜町の産業が活気づくためにも、特産品のブランド化や、魅力ある商品開発の取り組みを推進して、返礼品の種類を増やしていきたいと考えています。

また、ふるさと納税を通して、全国へ横浜町の魅力さを発信して、横浜町ファンを増やしていくためにも、納党の皆さんのご協力をお願いします。



Q. 公園にゴミを持ち帰るように促す看板の設置をしてほしい

2班 ^む無 ^{とう}党

若佐 彪雅 議員
田村 彩菜 議員
橋本 南空 議員
藤田 愛也 議員

問 私たちがよく利用する三保野公園ですが、ごみがたくさん落ちているときがあるのをご存知でしょうか。公園はみんなの憩いの場です。

そこで、公園にゴミは持ち帰るように促す看板を設置することを提案します。例えば、横浜小学校の子ども達が看板を作るというのはどうでしょうか。そうすることで、公園をきれいに使おうという気持ちも高まり、楽しく遊べると考えます。

答 公園内がゴミできたないと利用者の方々が大変嫌な思いをしますので、公園を気持ちよく利用できるようにするため、無党のみなさんの提案の、ゴミを持ち帰ることを促す看板を春に設置し、公園内にゴミを捨てていかないような対策をしたいと考えています。

また、横浜小学校の皆さんに看板を作成してもらうことやクリーンウォークについても検討していきたいと思います。



Q. 菜の花クリニックの規模を大きくすることはできないか

3班 ^{とう}ありが党

杉山 幸咲 議員
藤元ことみ 議員
樋熊 聖花 議員

問 現在菜の花クリニックでは、他の病院に比べて規模が小さいため、緊急外来に対応しかねています。また、横浜町には高齢者が多いことから、足腰が悪い人が多くてもいいように整形外科などを増やした方がいいと思います。

そこで私たちは、菜の花クリニックの規模を大きくすることを提案します。さらに、高齢者のためのリハビリテーションを作ると、わざわざ他の市町村まで行く必要がなくなり、安心して生活できる町になると考えます。

答 菜の花クリニックの規模を大きくすることについては、医師等の人材確保や予算面などの課題が考えられ、また、民間の医療機関であることから、町として対応することは困難な状況です。現状の支援としては、子どもの急な病気が心配の場合に、専門家が対応する子ども医療電話相談の紹介や、近隣市町村への受診の際に、支援が必要な高齢者等に対する通院時外出支援サービスなどがあります。

何より、日頃から病気の予防や健康づくりに心がけるとともに、町民のみなさまへ周知と理解を求めていると考えています。



Q. 横浜町に 塾を開設してはどうか

4班 ポテイ党^{とう}

石崎 花凜 議員
外井 音彩 議員
澤谷 心結 議員
森川 稀葵 議員

問 私たちは、子どもが一生懸命勉強できる環境を充実させたいです。しかし、横浜町は塾や高校がありません。そこで、私たちは、塾を開設することを提案します。

例えば、勉強塾はどうでしょう。私たちがにこにこセンターに行って遊んでいるうちに他の市町村では、塾で勉強をしています。また、そろばん塾があることで、計算技能を高められます。以上の取り組みをすることで、人口減少を回避できたり、横浜町の学力をあげたりできると考えます。

答 皆さんから提案していただいた勉強塾を開設することにより、横浜町の活性化にもつながり、それが人口減少の一助になると期待するところです。

勉強塾を開設するには皆さんに勉強を教えてくれる先生も必要ですし、町で学習塾を運営するとなれば、いろいろと準備やお金もかかることから、今後は幅広く意見を伺いながら学習塾の開設の可能性や、講習会の拡充についても考えていきたいと思います。



Q. 横浜町にある廃校を 再利用できないか

5班 さ 党^{とう}

長郷 瑛太 議員
外井龍之介 議員
佐藤 温輝 議員
中山 康太 議員

問 横浜町には多くの廃校があります。そこで僕たちは、横浜町にある廃校を改修し新しい施設にして利用することを提案します。

廃校を再利用することにより、取り壊しの費用は掛からず、新築を建てるより費用をおさえることができます。

横浜町の発展のために、廃校の利用は有効だと考えます。

答 佐党の皆さんのご提案のとおり、廃校となった施設を企業等へ貸し出し、再利用することにより、取り壊し費用を抑えることができ、使用料をもらうことも可能になります。

さらに、新たな事業者が町にできることで、地域の雇用と消費の創出にもつながっていきます。町といたしましても、廃校となった施設を有効に再利用し、安全に、継続的に利用してもらうことで、魅力的なまちづくりと町の発展につながるものと考えています。



Q. 町民が歩道を安全に通行できるように 草刈りや舗装をしてほしい

6班 ^{かん} 関 ^{とう} 党

高木 智太 議員
杉山 遥真 議員
白糠 楓 議員
吉田 理人 議員

問 学校から離れた場所では、歩道の状況が悪いと感じることがあります。

そこで、町で危ないところを調べ、安全な道路にするために、草刈りや道路を舗装することを提案します。このような取り組みをすることで、事故やけがを減らし、安全に通行することができると思います。

答 道路の草刈りや舗装について、国道及び県道は、町民からの情報提供により危険箇所があれば県に改善の要望をして対応しています。また、町道については、町職員によるパトロールや町民からの情報提供がされ、草刈りについては町職員やシルバー人材センターによる作業及び町内会の奉仕作業により実施され、道路に空いている穴を埋める作業は建設業者や町職員で対応しています。

小学校のみなさんも危険なところを発見した場合には町に情報提供していただければ、現地を確認の上、速やかに対応していきたいと思います。



Q. 横浜町の空き家を、一般の方や 企業に貸し出せないか

7班 ^{こん} こん ^{べい} 党

杉山 颯詩 議員
竹田 湊乃 議員
鎮守 咲喜 議員

問 現在の横浜町は、人口が減って、空き家が増えています。そこで、横浜町で空き家を買って、土地や建物を改修し、一般の方や企業に貸し出すというのはいかがでしょうか。古い家は壊れる等危険もあり、空き家を減らすことができると、より良い横浜町になると考えます。

答 横浜町の空き家については、令和元年の調査により、空き家軒数が169軒となっております。提案がありました、空き家を買って、一般の方や企業へ貸し出すことについては、町では今後、空き家の所有者から賃貸や売却の希望を募集し、これらの利活用を検討している移住検討者や事業者への情報提供を行うため「空き家バンク」の立ち上げに向けて準備を進めています。

これにより、横浜町に移住する方が増えることが期待され、人口減少に歯止めをかける一助となるものと思います。

町の景観を損なう事にもなる空き家については、しっかりと対応していきたいと思えます。



Q. 道の駅のレストランメニューをさらに充実してはどうか

8班 ^{とり やま とう} 鳥山 党

鳥山 新平 議員
 中山 蒼太 議員
 鳥山 颯人 議員
 菊池 祐成 議員

問 道の駅に人を集めるために、僕たちは、レストランのメニューについて提案します。例えば、種類を増やすのはどうでしょうか。ラーメンや丼物以外に、安く手軽に食べられる軽食や、大盛りの料理、デザートメニューが増えると様々な人の希望に対応することができ、家族で来る人や、若者に人気のレストランになるのではないのでしょうか。

答 レストランのメニューの量を増やすことについては、令和3年度にメニューの見直しを行い、現在は約15のメニューを提供しています。軽食やデザートに関しては、喫茶店のような気軽に立ち寄れる場所にもなりますし、さらに若者ウケが良いとツイッターなどのSNSで広がり話題になると思います。

今後は、みなさんからいただいた貴重な提案をもとに、訪れる方に満足していただけるような料金設定を含め、より良いメニュー作りやサービス提供について、レストランや菜の花プラザの運営についても関係者一同改善したいと思います。

～各班の再質問をピックアップ～



天間杏奈さん

横浜町の返礼品は県内の町村に比べても種類が豊富で良いと思います。もっと横浜町の魅力をいろいろな県に広めて欲しいと思いました。



樋熊聖花さん

私は横浜町についてネットで調べ、もっと横浜町について知りたいと思いました。他の市町村と比べ横浜町にしかない良いところも知ることができて楽しかったです。



長郷瑛太くん

私は調べてみて、横浜町には塾は少ないけれど、保育園や給食が無料なのが良いと思いました。これからも続けてほしいです。

僕は、横浜町の廃校について調べてみてほとんど使われていないことがわかったので、せっかくある横浜町の廃校を最大限に活用してほしいと思いました。



竹田漣乃さん

横浜町の人口増加のために、提案を考えましたが、この提案以外にも自分でできることを考えて実行したいと思います。

道の駅の料理はとてもおいしいのですが、やはり自分は高いと感じているため、安くしたら味もよく安いという評判のレストランになると思うのでぜひ取り組んでください。



田村彩葉さん



石崎花凜さん



杉山遥真くん



菊池祐成くん